

米沢江戸道中図 日本橋一千住

寛永元(1624)年、江戸幕府は江戸と東照宮を結ぶ「将軍家の参道」として日光道中(街道)の整備を開始し、寛永2(1625)年に日光道中は誕生しました。

米沢江戸道中図では、江戸から米沢(山形県)までの街道や宿場の様子を描いています。

米沢藩上杉家は、米沢から奥羽山脈の板谷峠を越え、仙台道(仙台-白川)を通り、奥州街道を経て、江戸に参勤しました。その際に、同家は千住宿を通ったため、絵図中には、千住(寿)宿も描かれています。

